

しょうかんのんぞう
聖観音像

- ◇ 指定日 昭和37年4月18日
- ◇ 所在地 蛸の浜町
- ◇ 所有者 心公院

明治初期の廃仏毀釈により、黒森権現社(黒森神社)または赤龍寺せきりゅうじに安置されていた聖観世音菩薩像しょうかんのんぼさつぞうが、鋤ヶ崎に移され、心公院しんこういんに寄進されたと伝えられています。

左手に蓮華を持ち、右手は施無畏印せむい いんを結んでいます。
胡粉下地ごふんに漆を塗り箔を貼っており、衣は凹凸を付けて彫り出しています。

胸の下をややしぼり、腹部は豊満に造られており、胸飾りを付け、両腕から天衣てんねを垂らしています。

天冠台てんかんだいを付け髪は八つに分けてまとめ、毛筋を彫っており、白毫びやくごうを備え、眼は半眼切れ長で玉眼ぎよくがんが入っています。

江戸時代前期の制作と推定されています。



像高 102.3cm 幅 32.0cm 奥行 18.7cm